



おかげ様で創業 30 周年を迎えました

“光陰矢のごとし”山あり谷ありの 30 年でした。

代表取締役 下 裏 祐 司

1 回の研修が人生を変える

今年7月31日に創業30周年を迎えますが、この30年を振り返ってみますと、まさに山あり谷ありの日々でした。38歳の時に一週間の「自己研鑽研修」に参加しましたが、その時に人生年表を作成しました。その中身は「43歳で独立し、他にはない活性化システムを作り上げる。45歳で全国を周って講演活動を行う。50歳で海外にて企業の活性化を行う。」等の人生設計を立てました。

この人生年表に基づいて43歳で独立し、47歳の時「樽を企業に捉えた樽式活性化」を考案し、日本商工会議所・商工会等で北海道から九州まで各地を講演して歩きました。又、50歳の時には中国の日中合弁企業の活性化に総経理(社長)として取り組みました。

今振り返るとこの研修に参加し、人生年表を作成したことで私の人生は大きく変わり、描いた夢が現実になったと確信しております。“見る夢は叶えられ見ない夢は叶えられない”と言われますが正にその通りだと思いません。

この樽式活性化法も幾度かの改善を重ね、又、稲を題材とした意識の変化を図るための「稲意識活性化法」も開発し、企業の風土を診断する「企業風土診断システム」も作りました。

各種研修ご提案書完成

今回は改訂版の「活性化研修・二世研修・管理者研修・工場長研修・新人活性化研修」のご提案書を作成いたしました。このご提案書は文字での説明と共に出来るだけイラスト等を活用し、ご理解していただきやすいように作成いたしました。下記の写真は活性化研修ご提案書です。

ご要望の方はご連絡いただければご送付いたしますのでどうぞお申込み下さい。



紙面ご案内	
p2	二世研修プログラムご案内 ～二世の気づきが企業を左右する～
p3	二世研修プログラム 月1回12ヶ月
p4	風土診断ご案内

各種研修プログラムご案内

第1回 「二世研修プログラムご案内」

各種研修のご案内を開始

今回から当社が行っている各種研修のご案内をさせていただきます。その第1回として二世研修をご案内させていただきます。



今、団塊世代が世代交代の時を迎え、後継者育成が企業の将来をも左右する大きな課題となっております。息子に跡を継がせるのか。それとも生え抜きの社員や外部から迎えるのか等、お悩みの経営者の方が多いのではないかと推測いたします。

このお悩みを少しでも解消するために当社では二十数年に亘り二世研修を行っております。

企業は人の集まりです。経営者として一番上に立つ者はその組織の見本となり、大げさな言葉になりますが、尊敬される人にならなければなりません。そのためには「何が経営者に求められるのか」をしっかりと知り、一步一步その姿に近づかなければなりません。又、こんな相談もありました。

「家は婿取りで後継者にすることに不安を抱いています。」私はそれに対し「この二世研修にお婿さんと娘さんの2人で参加されたらどうでしょうか、2人で参加されることで経営ということが2人で理解出来、その理解が2倍3倍と大きく広がり、もう一つ大きな効果は娘さんが二世研修を受けられて経営の基本を学習されることで社長さんが日々安心出来ることです。」と答えました。

このように二世研修も色々なやり方があります。

二世の気づきが企業を左右する

ここで当社の二世研修に参加された方の8ヶ月目のレポートをご紹介します。

「この8ヶ月間で8回の二世研修を終了して思うことは、よく言えば自分はまだまだ良くなれる、変わっていけるということ、悪く言えば二世として今まで、その自覚がなく勉強不足だということ強く感じています。

この8ヶ月間で会社の中での自分の立場に、かなり変化があり二世研修を行う前では、考えられない様な相談や質問をされ、又、それに自信を持って答えられる様にもなれました。まだまだ自分自身が二世としての自信を持てる様になれるのは、随分先の話だと思いましたが、この8ヶ月間は大変に勉強になり、又、自分はどの様にすればいいのか少し解ってきました。今後も頑張りたいと思います。」

この二世研修を受講した企業の30代の方の場合、1年後には部長・取締役として、その職責を十分に果され、社員からの信頼も厚く、業績も順調に向上しております。この企業の社長の奥さんからは「一年前には会社のことを家で話し合うこともなかったのですが、今は変わり、会社の今後のことなど真剣に話し合っています。」との言葉をいただきました。私は「二世をしっかりと教育し、人の和(輪)を保つことを学ばなければ、その時点で企業の崩壊がはじまっている。」と考えます。当社の二世研修は、1対1の個別研修であり、他者に甘えることはできず、「経営者は自らの力で自らの道を切り開かなければならない。」という経営者の厳しい一面を学習していただく方式です。

二世研修プログラム

二世研修は原則として期間は「1年間」としております。

回数	管理項目	他	項目	内容
1	人生設計		人生プランニングの構築	人生年表を作成し、人生設計の立案をする
1	問題発見	自己	長所・短所から自己改善点を抽出	自分自身の改善点を探ることにより、よりその中身が深くなる
			その改善方法の検討	
1	問題発見	職場	問題点・改善点の抽出	二世として見た職場内の問題点・改善点を出し、その解消法を学習する
			その改善方法の検討	
1	モノの管理	ソフト面	サービスなど品質を中心として、現状調査・分析	左記のソフト面の現状を調査・分析し、今後の方向性を決める
		ハード面	設備・機械・倉庫などの現状調査・分析	左記のハード面の現状を調査・分析し、今後の対応等を決める
3	人の管理	評価	「役員・幹部年齢別構成表」「樽式人事評価法」などに基づき、調査・分析	左記の各表に基づき、人事評価の現状調査と分析を行う
		給与	「給与体系」などの現状調査・分析	「給与体系」等の現状調査・分析を行い、経営状況とのバランス度を検討する
2	金の管理	結果	決算書の見えぬ数字を読む	決算書に隠された数字を把握する方法を学習する。そして決算書を経営に活かす方法を学ぶ
2		計画	事業計画書の立案	3年間の決算結果を踏まえ、年間の事業計画書を作成する方法を学習する
1	人生計画		人生プランニングの見直し	1年間の研修を振り返り、人生年表の見直しを行なう
	脱皮		1年間の復習	1年間の振り返り、そのポイントを復習する

「一言」

二世研修は親への反発の研修とも言えます。「なぜ家業を継がなければならないのか」多くの二世の方は大なり小なり、この反発心を持って研修に参加されます。その反発心をいかにして後継者になるための喜びの心に変えることが出来るか。この戦いが二世研修です。その第一歩が二世としての甘えを断ち切ることです。他の研修とは違い、1対1の研修であることから逃げ場がなく「経営者は孤独である」ということもこの研修で学んでいただきます。

株式会社 飛 泉

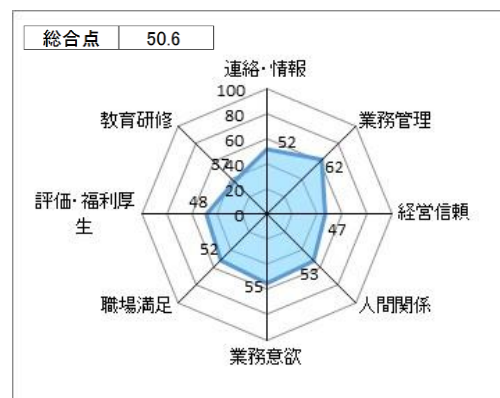
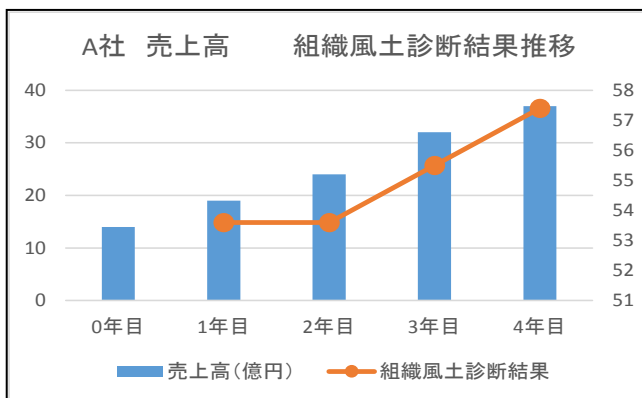
理 念	顧客の発展が自社の発展につながる 当社の発展はすべて顧客と一体であり、顧客の発展なくしては、当社の発展はありえない。 そのために徹底した顧客第一主義を貫き、決してその努力を惜しまない事とする。
方 針	日々、品質の向上を図り、顧客のニーズに応える 時代は激変のときを迎えている。 この激変のときこそ、お客様が求める品質に対応できる力をつけ、日々全社員が勉学に励み、コンサルタントとしての知恵と人間的魅力を向上させていく。

あなたの会社でも組織風土の分析をしてみませんか？

組織風土診断

昔から業績が良い企業の特徴として企業風土の良さがあると言われてきました。弊社の長いコンサルティング経験からも同様な実感があり、むしろ企業風土がよくなっていくことで、会社の業績も良くなっていったという会社は少なくありません。企業風土が良くなって更に会社の業績も上がる、そんな会社の発展の仕方は多くの経営者の方にとってもまさに理想的なのではないでしょうか？しかし、何から手を付けていけばいいのか、うちの会社はいったい何が問題なのかということ客観的に判断することは非常に難しいと思います。組織風土とは、まさに組織の中にいる人たちが会社のどんな所が問題点だと思っていて、どんな所は良いと感じているか、その思いの中にあります。弊社の行う組織風土診断は、あなたの会社の従業員の方々にアンケートを行い、その結果を分析することで、あなたの会社の悪い部分と良い部分を検査いたします。

それは、まるで会社に行く定期健康診断のようなものです。



「コラム」

「世紀が変わる時、時代は大きく動く」と言われますが、今、正に世界の政治・経済の面と共に地震や大雨など自然環境の中でも現実化しております。政治の世界では米国が世界の警察の役割を放棄し「覇権国家」でないことを宣言しました。では次の世界の中心になるのは何処でしょうか。歴史を振り返ればその中心は時計回りに回ります。19世紀は英国の「植民地主義」20世紀は米国の「世界の警察」でした。ではこの次の世界の中心となる国はどのような形が求められるのでしょうか。それが決まるまで、世界は不安定な状態が続きます。